

話題がいっぱい /
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



5/9 人間の命と健康・尊厳を守るために

「人間を救うのは、人間だ」をスローガンに、明るく住みよい地域づくりのため、災害救護や街頭募金活動など幅広いボランティア活動をしている日本赤十字社の「浦添市赤十字奉仕団 会費募集出発式」が、市民広場で行われました。宮里時子委員長は、「自然災害や紛争による犠牲者へ人道的な支援が必要。私たちは現地に向くことはできないが、活動資金を増強することで赤十字社が必要な場所へ届けます」と支援を呼びかけました。

毎年5月は赤十字運動月間となっており、団員たちは市内企業を訪問し、赤十字活動への協力を呼びかけています。集められた会費や募金は、国内外での支援活動のために役立てられます。



4/19 “地球の日”浦添の海を未来へつなぐ

4月22日のアースデイ(地球環境について考える日)に合わせ、浦添の西海岸・里浜を清掃するイベント「アースデイ2025inうらそえ」が開催されました。

市の呼びかけに約45人の親子連れや企業の皆さん、学生の皆さんが参加し、パルコシティ前やカーミージー付近、海岸沿いを1時間半ほど清掃しました。

友人同士でイベントに参加した、大学3年生の林咲旭さんと宮城咲良さんは「パルコによく遊びに来るので、一緒にやってみようという話になった。洋服など意外なものが落ちていて驚いたけど、楽しかった」「海もキレイで、いい天気の中ゴミ拾いができて気持ちがいい。いい朝活になった」と笑顔で答えてくれました。



4/26 元プロが伝えるハンドボールの楽しさ

ハンドボール元日本代表の香川将之さんによる、小学生を対象としたハンドボール教室が行われ、内間小学校、沢岬小学校、浦添小学校、仲西小学校のハンドボールチームの子どもたち、総勢34人が参加しました。

香川選手は「自分の好きなハンドボールの楽しさをみんなに伝えたい。やったことのない練習もあると思うけど、挑戦してほしい」と、練習前に子どもたちに話しました。練習に参加した本村菓子さん(内間小6年)は「教え方がとても丁寧でわかりやすかった。甘いもの、辛いものを聞き分けて左右にダッシュする、瞬発力を鍛える練習が楽しかった。」と話し、いつもと少し違った練習で楽しくハンドボールを学びました。



5/12 地域に寄り添う、すてきなボランティア

「民生委員・児童委員の日」である5月12日にあわせて、市民広場で活動強化週間の出発式が行われました。

民生委員・児童委員は、登下校時のあいさつ運動や高齢者や障がい者世帯への訪問などの見守り活動、生活に関するさまざまな相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、関係機関へのつなぎ役を担っています。

この日、集まった皆さんは「民生委員児童委員信条」を朗読で再確認し、より良い地域づくりを目指すことを改めて決意しました。また1日民生委員として、宮城智枝子 福祉健康部長が仲間地域に住んでいる宮城庄順さん(93歳)と崎原哲さん(91歳)の自宅を訪問し、会話を交わしながら見守り活動を行いました。



4/25 地域のために貢献した人たちを表彰

令和7年度浦添市民憲章実践者表彰式が市役所9階講堂で行われ、地域の模範となる素晴らしい取り組みを行った個人10人に表彰状が贈られました。

浦添市民憲章推進協議会では「自然愛」「人間愛」「遵法・公德心」「勤労・健康」「平和・文化」の5部門からなる市民憲章を制定し、実践しています。

長年、当山自治会内の美化活動に貢献し、「人間愛」部門で受賞された松岡定征さん(前列左から3人目)が受賞者代表あいさつを行い、「これからも自分の体と相談しながら活動を続けていきたいと思っております。皆さんよろしく願いいたします。」と今後の抱負を語りました。



4/16 子どもの成長を願うこいのぼり掲揚式

子どもの成長と健康を願う「子どもの日」に先駆け、市役所中庭でこいのぼり掲揚式が行われました。

心地よい春の陽光に映える約470匹のこいのぼりは、市内の教育保育施設から集められ、庁舎に彩りを与えてくれました。

新垣副市長は「いっぱい食べて、大きくなって、素直で優しいお兄さん、お姉さんになってください」と語りかけていました。

園児たちはこいのぼりを見上げて笑いあったり、得意のダンスを披露してくれたり、元気な姿を見せてくれました。



4/15 中国・泉州と美術館の交流広がる

浦添市の友好都市である中国・泉州市から工芸美術職業学院の教授ら5名が浦添市を訪問しました。

学院は1980年に創設された美術大学で、磁器や彫刻などの伝統工芸に強く、在校生は6千名を超える大規模校です。学院最高顧問の丁峰氏は、かつて職員交流として浦添市で働いていた経験があり、泉州市などでもさまざまな役職を勤めました。今回、丁氏の働きかけにより泉州工芸美術職業学院と浦添市美術館の今後の交流や協力を図るための友好提携を結ぶこととなりました。

調印式では、丁氏と糸数政次美術館長が協定書に署名し、固く握手を交わしました。丁氏は「今後の交流に期待します」と喜びを語りました。